

令和5年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 則松 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語、数学、英語）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）

教科に関する調査（国語、数学、英語）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

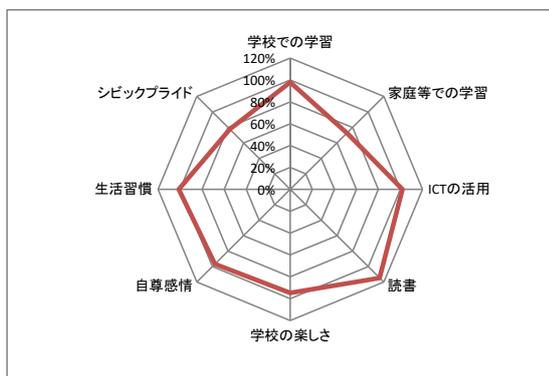
(1) 全国・本市の学力調査（国語、数学、英語）の結果

本年度の結果	国語		数学		英語	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	10.3	69	7.3	49	6.8	40
全国	10.5	70	7.6	51	7.7	45

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	知識及び技能について、言葉の特徴や使い方に関する事項、思考力、判断力、表現力等について、話すこと・聞くこと、読むこと情報の扱い方に関する事項の正答率は全国平均を上回っている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	文脈に即して漢字を正しく書く問題、話の話題を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問する問題	
	努力が必要な問題	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題、意見と根拠など情報世情報との関係についての問題	
数学	全体的な傾向や特徴など	数と式、図形、関数、データの活用の領域すべてについて、全国平均正答率を上回っている。特に、関数の領域が優れている。無回答率も低い傾向にある。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	反比例の意味を問う問題、四分位範囲の意味を問う問題、成り立つ事項を見だし、説明する問題	
	努力が必要な問題	自然数の意味を問う問題、数と整式の乗法の計算	
英語	全体的な傾向や特徴など	書く領域の問題について、全国平均正答率を上回っている。また、知識・技能について、全国平均正答率を上回っている。問題形式について、短答式、記述式の問題の正答率が高い傾向がある。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	未来表現の肯定文を書く問題、疑問詞を用いた一般動詞2人称単数過去形の疑問文を書く問題	
	努力が必要な問題	社会的な話題について、短い説明の要点を捉える問題、情報を正確に聞き取る問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・「早寝・早起き・朝ごはん」といった、基本的な生活習慣が確立している生徒が多い。 ・読書を好む生徒が多く、1日1時間以上読書を行う生徒の割合が高い。 ・ICTの活用について、これまでの授業の中でのICT機器の使用頻度は高く、学習に役立つと捉えている生徒が多い。 ・学校が休みの日の学習時間が1時間未満の生徒が多い。 ・学校での学習において、「自分の考えを発表する機会に、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表する」「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組む」ことに課題がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

国語科を中心に、自分の考えを伝えるための情報や資料の集め方、文章の構成・組み立てなどについて、重点的な指導を行う。また、総合的な学習の時間などで、自分で課題を立てて情報を集め整理し、発表する機会を設定するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫を行う。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・新しく学習した内容や苦手な領域の内容に関して、自主的に家庭学習が行えるよう、週末課題などを課して復習を促す。
・ICT機器が学習に役立つと感じているものの、授業以外での学習場面で活用している生徒は少ないため、学習に役立つアプリ等を周知していく。